

## 授業概要

科目名	言語聴覚障害概論				授業の種類	演習	講師名	橋本 沙代子 杉本 彩乃			
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST1年	通年
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚障害の基礎知識を習得し、評価・診断および臨床の流れと基本的な手法について理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。											
【実務者経験】 橋本；言語聴覚士としてこども発達サポートセンター、野間こどもクリニックなどで発達障害児の言語聴覚療法に従事経験。 杉本；言語聴覚士として半田中央病院に勤務し、成人分野の急性期から慢性期までのリハビリに従事する。											
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士の業務に関わる基礎的な知識を習得するとともに、関連法規や倫理観を学ぶ。 言語聴覚士に必要な国語表現を身に着ける。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語聴覚士業務について説明することができる。 国家試験に則した基礎的知識を身につけることができる。											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	オリエンテーション・医療漢字・医療用語について読み書きができる									概論 教科書	
2	言語聴覚士法について理解できる									概論 教科書	
3	言語聴覚士法について理解できる									概論 教科書	
4	言語聴覚障害・言語聴覚士について、役割と求められる資質・能力を含め理解できる									概論 教科書	
5	言語聴覚療法の基本理念について理解できる									概論 教科書	
6	言語聴覚療法とその過程について理解できる(ICF、リハビリ実施計画書の書式を含む)									概論 教科書	
7	関連職種連携について理解できる									概論 教科書	
8	言語聴覚士と倫理について理解できる(倫理綱領・医療倫理・研究倫理を含む)									概論 教科書	
9	リスクマネジメントについて理解できる									概論 教科書	
10	言語聴覚療法の歴史について理解できる									概論 教科書	
11	小テスト実施									概論 教科書	
12	言語聴覚士に関連する専門用語について理解し、読み書きができる									概論 教科書	
13	言語聴覚士に関連する専門用語について理解し、読み書きができる									概論 教科書	
14	言語聴覚療法の文献を読み、要約ができる									概論 教科書	
15	言語聴覚療法の文献を読み、要約ができる									概論 教科書	
【使用教科書・教材・参考書】 標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論 標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版											
【準備学習・時間外学習】 指定された教科書ページを予習し、講義終了後は講義内容の復習を行うこと。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は小テスト20点、定期試験80点として評価し、60点以上の場合に科目を認定する。											

# 授業概要

科目名	言語聴覚障害概論				授業の種類	演習	講師名	橋本 沙代子 杉本 彩乃
授業回数	30 回	時間数	60 時間	2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST1年 通年
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>言語聴覚障害の基礎知識を習得し、評価・診断および臨床の流れと基本的な手法について理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。</p>								
<p>【実務者経験】</p> <p>橋本；言語聴覚士としてこども発達サポートセンター、野間こどもクリニックなどで発達障害児の言語聴覚療法に従事経験。 杉本；言語聴覚士として半田中央病院に勤務し、成人分野の急性期から慢性期までのリハビリに従事する。</p>								
<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>言語聴覚士の業務に関わる基礎的な知識を習得するとともに、関連法規や倫理観を学ぶ。 言語聴覚士に必要な国語力を身につける。</p>								
<p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>言語聴覚士業務について説明することができる。 国家試験に則した基礎的知識を身につけることができる。</p>								
回数	講義内容							準備物(教材)
16	臨床データ解釈と留意点について、概要と重要用語の理解ができる							概論 教科書
17	言語聴覚士に関連する専門用語について理解し、読み書きができる							概論 教科書
18	言語聴覚療法の文献を読み、要約ができる							概論 教科書
19	小テスト実施							概論 教科書
20	まとめ							概論 教科書
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
	定期筆記試験							
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論 標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版</p>								
<p>【準備学習・時間外学習】</p> <p>指定された教科書ページを予習し、講義終了後は講義内容の復習を行うこと。</p>								
<p>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</p> <p>試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は小テスト20点、定期試験80点として評価し、60点以上の場合に科目を認定する。</p>								